

青梅市移住・定住促進プランのアウトライン（案）

資料7

	補足・内容
はじめに	市長からのあいさつと青梅市の現状について簡単に触れる。
第1章 青梅市移住・定住促進プランの目的と位置づけ	ここでプランの全体像を示す。
(1) 策定の背景と目的	背景は人口減少の人口ビジョンを受けて、目的は人口減少の抑制にある。
(2) 計画の位置づけ	まち・ひと・しごと計画が上位計画。
(3) 計画期間	まち・ひと・しごと計画の終期に合わせて3年。
第2章 青梅市の現状と課題	ここで現状を示し、分析を行い、課題を抽出する。
(1) 人口に関する現状	人口について青梅市の現状と今後の推移を示す。
ア) 人口動態の分析	現在の転出入の人口動態の状況を示す。第1回懇談会の資料等を用いる。
イ) 人口の将来推計	まち・ひと・しごと計画でも示しているような人口推計で将来の減少を示す。
(2) 住宅に関する現状	住宅マスタープランと同様の内容をかいつまみ示す。
ア) 住宅・住環境の状況	住宅マスタープラン掲載の情報を示す。
イ) 空き家の状況	住宅マスタープランや空き家の実態調査の情報を示す。
(3) 就業・産業に関する現状	まち・ひと・しごと創生と同様な内容または第1回懇談会のリーサス資料等と同様のイメージ。
ア) 就業の状況	まち・ひと・しごと創生と同様な内容または第1回懇談会のリーサス資料の内容を示す。（就業者の減少）
イ) 産業の状況	まち・ひと・しごと創生と同様な内容または第1回懇談会のリーサス資料の内容を示す。（事業所の減少）
(4) 市民の意識	
ア) 市に対する意識の状況	市民から見た、青梅市の強み・弱みなどを示す。
イ) コロナ禍における意識変化	内閣府の資料などを用い、コロナ禍における市民意識の変化を示す。
(5) 課題	基本方針や、第3章で示す「ペルソナ」につながる課題の抽出
第3章 基本方針および獲得をめざすペルソナの設定	課題解決のための基本方針・設定するペルソナの提示
(1) 基本方針	今後の移住・定住促進の中で使う青梅市のキャッチフレーズを登場させ、プランの方向性・どんな青梅を目指すのか説明。
(2) 重要業績評価指標（KPI）の設定とPDCAサイクルによる評価・改善	特色を生かした取り組みの実践、重要業績評価指標（KPI）を通じた施策の効果検証等を行うことを説明。
(3) 設定するペルソナ（獲得すべき人物像）	移住・定住促進施策を展開するにあたり獲得を目指すターゲットとなる人物像（ペルソナ）の設定
第4章 移住・定住促進に向けた取組施策	青梅を知ってから、移住を決断し、定住に至るまでを5つの段階で分け、段階ごとに具体的な施策を展開していく。
(1) おうめを「みつける」、「おもいだす」	青梅を知らない人が、多くの市町村の中で青梅にたどり着いてもらう、または、一度は青梅を離れた方に青梅を思い出してもらうための施策
(2) おうめが「きになる」	青梅について相談する、遊びにしてみる、特産品を食べてみる、など、青梅を見つけた人を、青梅が「きになる」人にするための施策
(3) おうめを「おためしする」	移住を決断する前に、青梅での生活を実際に体験してもらう施策
(4) おうめに「きめる」	実際に移住を決断する段階での施策
(5) おうめで「くらす」	青梅に「きめた」人たちが青梅住み続けるための施策